



2021年2月8日

各位

会社名 株式会社住友倉庫  
 代表者名 社長 小野孝則  
 (コード番号 9303 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員経理部長 星野公彦  
 (電話 06-6444-1183)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2020年11月6日に公表しました通期連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

|                        | 営業収益    | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
|                        | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                     | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)(注)           | 187,000 | 9,500  | 11,800 | 7,200                   | 86.15          |
| 今回修正予想(B)              | 189,000 | 10,500 | 12,800 | 8,100                   | 97.10          |
| 増減額(B-A)               | 2,000   | 1,000  | 1,000  | 900                     | —              |
| 増減率                    | 1.1%    | 10.5%  | 8.5%   | 12.5%                   | —              |
| (参考)前期実績<br>(2020年3月期) | 191,721 | 11,101 | 13,596 | 8,951                   | 105.74         |

(注) 2020年11月6日発表

#### 2. 修正の理由

- (1) 当第3四半期連結累計期間(在外連結子会社の決算日は9月末日)におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、物流事業では倉庫の荷動きが低調に推移するとともに、港湾運送や国際輸送の取扱いが減少し、また、海運事業におきましても日本・韓国発北米向けコンテナ輸送数量が減少いたしました。一方で、倉庫保管残高が堅調に推移したほか、eコマース関連輸送の取扱いが伸長し、また、海運事業では第3四半期に入り輸送数量回復の動きが見られるなど、業績は想定を上回って推移しました。
- (2) 同感染症による経済活動への影響は、国内及び海外ともに通期にわたることを前提としておりますが、今後の当社グループの業績に及ぼす影響は限定的と想定され、また、第4四半期につきましても、物流事業では引き続き文書等情報記録媒体の取扱いやeコマース関連輸送の取扱いが堅調に推移し、海運事業では運賃水準の改善、輸送数量の回復が見込まれるため、通期連結業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

(注) 通期連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上